

第2次総合戦略の進捗状況について

第2次那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組

- ✓ 第2次総合戦略は、後期基本計画で定める重点推進テーマや基本政策に定める施策等を基に策定されており、一体的に推進していきます。
- ✓ 国及び栃木県の総合戦略や政策5原則（自立性・将来性・地域性・総合性・結果重視）の趣旨を十分に踏まえつつ、関連する施策を推進します。
- ✓ 本市が持つ地域資源を活用し、本市らしい取組を展開します。
- ✓ SDGsの目指すゴールは、本市が後期基本計画で目指す姿に沿ったものであり、第2次総合戦略においても理念を十分に踏まえ、施策を推進します。



- ◆ これらの取組を効果的に推進するために、4つの基本目標と横断的目標を設定し、それぞれにKPIを設定しています。
- ◆ KPIは別紙のとおり管理し、進捗状況に応じて柔軟に事業を実施していきます。

基本目標・横断的目標毎のKPI進捗状況

基本目標	KPI数	令和5(2023)年度末時点のKPI進捗状況		
		基準年度と比較して上昇	基準年度と比較して変化なし	基準年度と比較して低下
		↗	→	↘
基本目標1 那須塩原に魅力あるしごとをつくる	8	5	0	3
基本目標2 那須塩原へのひとの流れをつくる	4	1	0	3
基本目標3 結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる	6	2	0	4
基本目標4 安心して住み続けたい魅力的な地域をつくる	8	4	1	3
横断的目標 新しい時代の流れを力にする	5	4	1	0
計	31	16	2	13

- 畜産業の活性化や雇用環境についてはポジティブに推移している一方で、観光の活性化が課題となっている。
- 人口社会増は維持しているが、若年層の流出に対応が必要である。
- 令和9年度までに達成するとしていたKPIを達成している指標の取扱いをどうすべきか検討を要する。

(参考)那須塩原市の人口の現状①

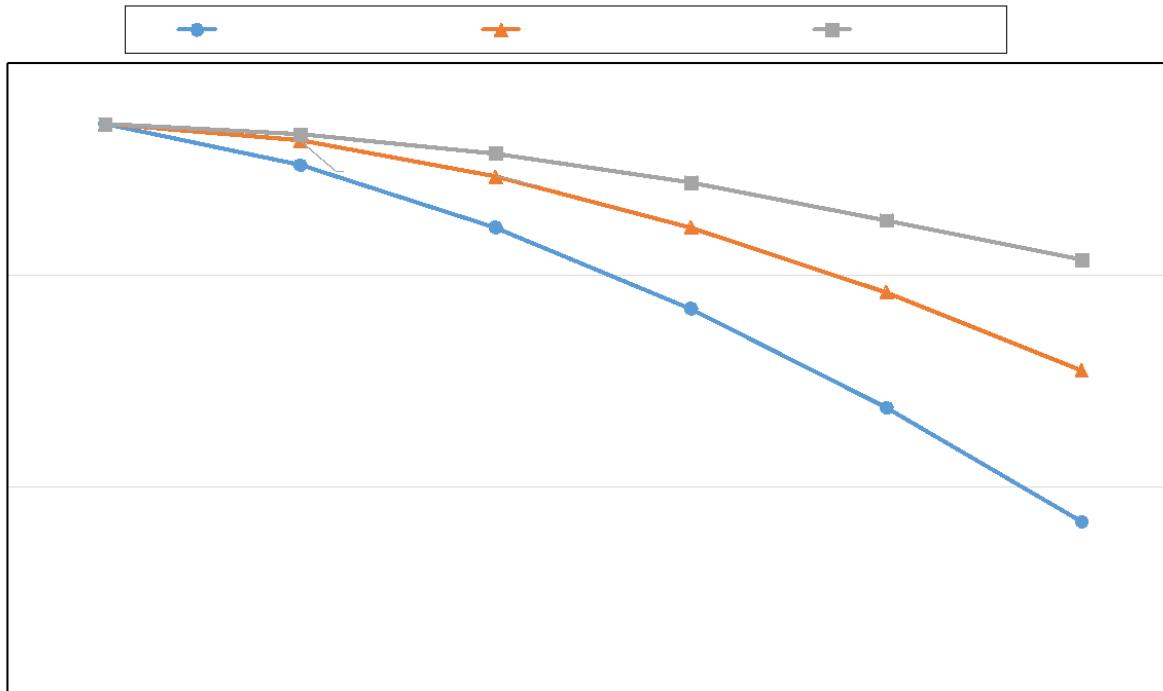
- ✓ 令和2(2020)年国勢調査を用いた単純な人口推計では、現計画の推計人口・目標人口の見通しを大きく下回り、令和22(2040)年に人口10万人を下回ります。

(1) 単純推計と前回推計の比較

	平成27年(2015)	令和2年(2020)	令和7年(2025)	令和12年(2030)	令和17年(2035)	令和22年(2040)
□□□□□□□□□	117,146	115,210	112,254	108,418	103,726	98,343
□□□□□□□□□*	117,146	116,351	114,663	112,257	109,191	105,503
□□□□ *	117,146	116,670	115,769	114,390	112,601	110,740

*現行の計画の推計人口

※ 単純推計の令和2(2020)年までは国勢調査結果



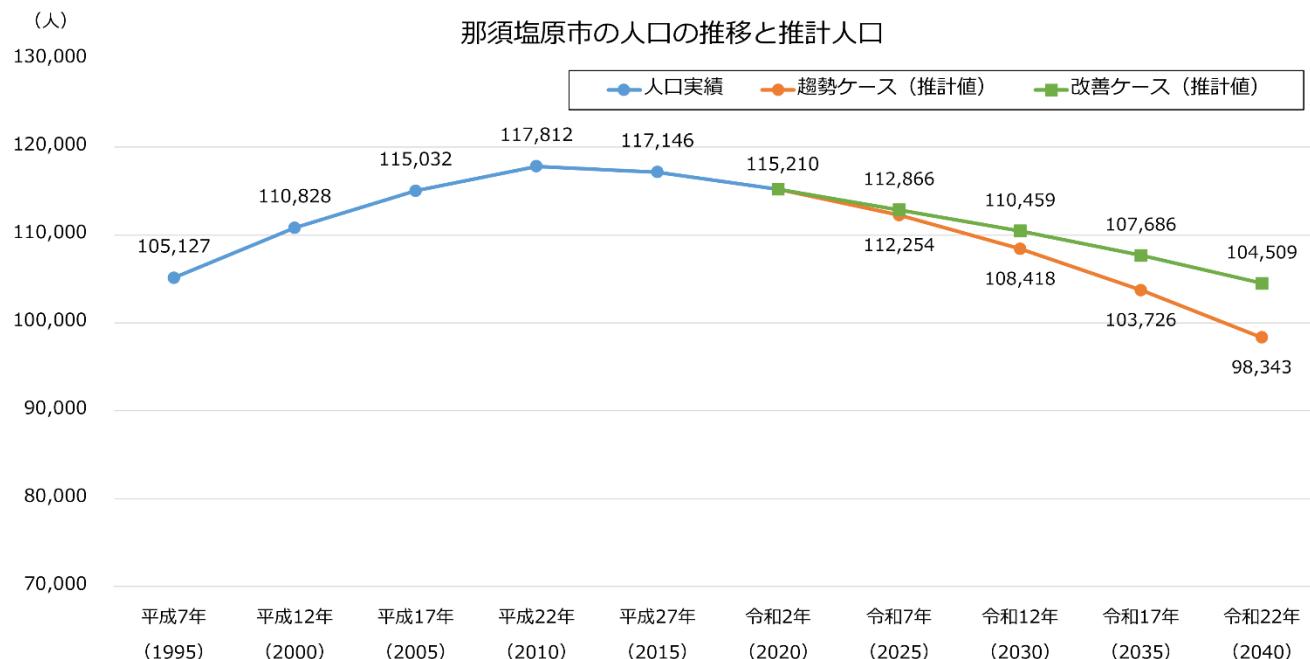
仮定内容	内容
移動率	2015→2020の人口変化と生残率から算定し、一定
出生率	2015→2020の出生率で一定（実際は2020年の子ども女性比率で算定）
生残率	社人研の仮定値に基づく

(参考)那須塩原市の人口の現状②

- ✓ 第2次総合戦略では、将来の合計特殊出生率や若者を中心とした社会増減の状況の改善を図ることにより、総人口は令和12(2030)年に11万人、令和22(2040)年に10万人を目指します。

(1) 単純推計と前回推計の比較

	令和2年(2020)	令和7年(2025)	令和12年(2030)	令和17年(2035)	令和22年(2040)
趨勢ケース	115,210	112,254	108,418	103,726	98,343
改善ケース	115,210	112,866	110,459	107,686	104,509



改善ケース（推計値）の仮定

仮定内容	内容
出生	国が目標としている合計特殊出生率と同水準の、令和12(2030)年に1.8程度、令和22(2040)年に人口置換水準である2.07を達成すると仮定
死亡	社人研の仮定値に基づく
移動	令和7(2025)年までに10代以外の各年代における転出超過を解消・若年層(30代以下)の純移動率を令和22(2040)年までに転入：2割増加、転出：2割抑制を達成すると仮定

(参考)第2次那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

計画概要

本市における人口減少への対応と地方創生を推進することを目的とした「第2次那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

- ◆ まち・ひと・しごと創生法の第10条第1項に基づく「地方版総合戦略」
- ◆ これまでと同様に総合計画と一体的に推進

計画期間

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

第2次総合戦略の構成

第1章 人口ビジョン編 … 人口の現状・人口の将来展望

第2章 総合戦略編 … 人口減少への対応及び地方創生を推進するための施策等



※ 定住促進計画

(参考)第2次那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

- 人口減少への対応
「令和22(2040)年人口10万人」
- 地方創生の推進

第2次那須塩原市総合計画（H29～R9）
将来像：人がつながり新しい力が湧きあがるまち那須塩原
第2次那須塩原市総合計画後期基本計画（R5～R9）

策等の

本的に推進

【基本目標1】那須塩原に魅力あるしごとをつくる

- ①農林業の活性化
- ②畜産業の活性化
- ③商工業の活性化
- ④観光の活性化
- ⑤雇用環境の整備
- ⑥農観商工連携の強化

【基本目標2】那須塩原へのひとの流れをつくる

- ①シティプロモーションの推進・情報発信の充実
- ②広域的な連携の推進
- ③姉妹都市交流・国際交流の推進

【基本目標3】結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる

- ①男女の出会い・結婚の支援
- ②子育て環境の充実
- ③学校教育の充実・学校教育環境の整備
- ④男女共同参画の実現

【基本目標4】安心して住み続けたい魅力的な地域をつくる

- ①環境保全の推進
- ②まちの安全安心の確保
- ③地域福祉の充実、健康づくりの推進
- ④生活基盤の充実
- ⑤市民協働による地域づくりの推進、中心市街地の活性化
- ⑥生涯学習、文化・芸術、生涯スポーツの充実
- ⑦安定した行政経営の推進

【横断的目標】新しい時代の流れを力にする
④③②①
二ユーノーマル
ゼロカーボン
デジタル・トランスフォーメーション(DX)
県北拠点づくり